

青森県中南津軽地域の植物調査(2)¹⁾

太田正文²⁾

Plants Research of Southern Tsugaru District in Aomori Prefecture, Northern Japan (2)

OTA Masafumi

キーワード: 青森県, 中南津軽地域, 植物相, 植生, 維管束植物目録

はじめに

当館では、1973年の開館以来、県内の自然史の解明を目的とした自然調査をおこなってきた。2018年からは、中南津軽地域を調査対象にして3ヶ年計画で調査を実施しており(齋藤・太田, 2019)、今年度はその2年目である(図1)。

今年度の調査対象は、行政区では大鰐町と平川市が含まれた山域で、弘前盆地の南東部を取り囲んで秋田県境に接しているエリアである。

この辺りは、地質的には鮮新世に隆起した後の巨大な火山活動によって形成された湯ノ沢カルデラ(350万年前)と碓ヶ関カルデラ(240万～300万年前)がベースとなっている(青森県立郷土館, 2018)。このように、火山起源をもつこの付近は、藩政時代から知られた大鰐温泉や碓ヶ関温泉、湯ノ沢温泉(2012年に最後の宿が廃業)、久吉温泉、あいのり温泉など、泉質も異なる多くの温泉分布地として知られてきた。

古くから人々の往来が多かった地域であり、山域にあった自然林はスギ等の植林に置き換わっていることが多いが、沢沿いにはサワグルミや、県境にほど近い斜面や山の稜線などにブナやミズナラが残っているのが見られる。

このエリアについての植生や植物相について、これまでまとまった報告はないようで、今後、資料の蓄積を図っていく必要がある地域である。

I 調査方法

今年度の調査項目は、おもに植物相(フロラ)であり、植生については時間の制約があつて、代表的な森林群落5個のデータを採取したのみである。これらの調査は太田が行ったが、データ採取の際に津軽植物の会のメンバーに協力していただいた。

調査に入った場所は図1に示した4カ所であり、調査日は、三ツ目内川(2019年5月8日)、石ノ塔(5月22日)、湯ノ沢(6月5日)、久吉林道(6月26日)である。これらは、昨年の調査(7月8日から9月26日までの6

地点、6日間)に比べて早い日程であり、その分早い時期の植物を調査することができた。

調査方法は、植物相については調査場所の林道や遊歩道を踏査し、目視確認した維管束植物を記録するとともに、一部の植物の採集を行った。コケ植物については別の稿で報告している。

植生調査については、各調査地点で景観上代表的であると思われる森林群落を選んで、被度・群度を記録するという簡易的な調査を行った。詳しい方法は植生調査の項で述べた。

なお、この調査に当たっては、津軽森林管理署から令和元年5月14日付け元津管第42号で採集許可を受けている。また、大鰐碓ヶ関温泉郷県立自然公園特別地域内および黒石温泉郷特別地域内における高山植物等の採取については、青森県知事から指令第1073号および1074号の許可を得ている。

II 調査結果

1 植物相

(1) 各調査地点の概要

①三ツ目内川

2019年5月8日、大鰐町の三ツ目内地区を経て平川の支流である三ツ目内川を遡った。最奥の集落である高野新田を過ぎると道は舗装が切れて砂利道となる。調査は、高野新田から約3km奥に入った赤根沢が合流する地点(標高220m付近)から上流側の数地点で行った。5月15日と18日には追加の調査に入った。

林道の周囲の山腹はおもにスギが植林されており、それ以外はブナやミズナラの林が残っていて、そこにヒノキアスナロが高頻度で交じる。場所によってはヒノキアスナロが優占種となっている。

赤根沢の合流地点から少し下流の左岸には、伐採後1・2年経過したと思われる広い伐採跡地がある。ネット地図の航空写真では、この流域に数カ所の伐採地が確認できる。近くの林道には直径30～40cmのスギ材が集積されていた。

1) 青森県立郷土館中南地域自然調査(2019)

2) 青森県立郷土館, 主任学芸主査(〒030-0802 青森市本町2丁目8-14)

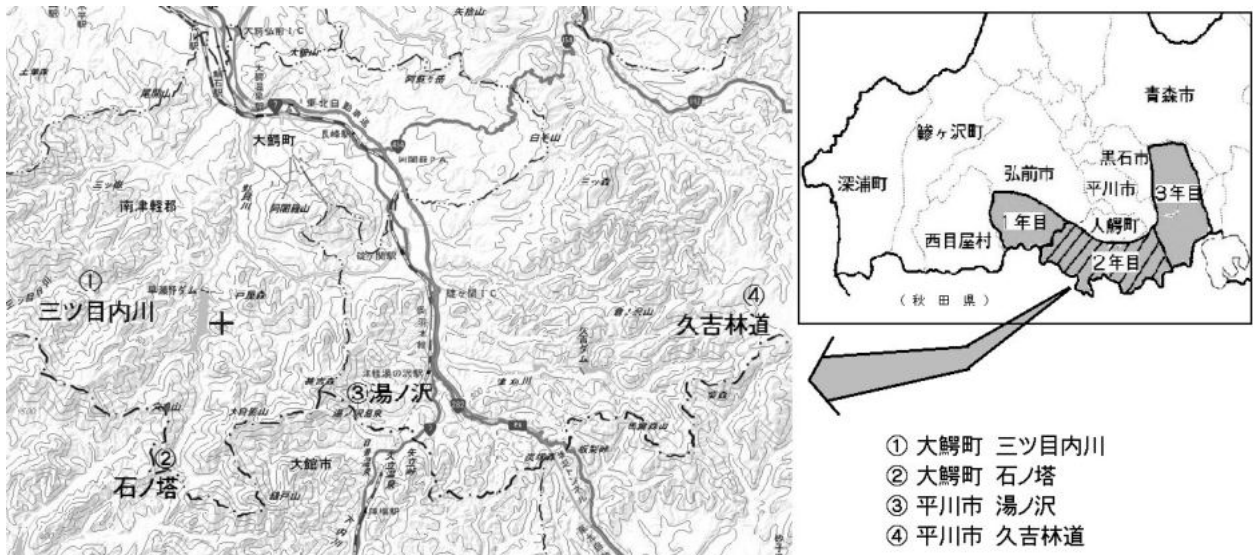


図1 調査地域

三ツ目内川の溪流沿いには、所々に切り立った岩壁がある。水がしみ出て十分に湿気があるところには多くの蘚苔類が生育するほか、ダイモンジソウの生育が目立っている。また、やや乾いた岸壁にはイワイタチシダ、イヌシダ、コケシノブ、コウヤコケシノブなど多様なシダ植物が見られた。

林道の道ばたや土手上には、チシマネコノメソウ（葉がやや大きく鋸歯が目立っている変種のミチノクネコノメソウ var. *aomorense* を含む）、ツルネコノメソウ、マルバネコノメソウ、ネコノメソウなど、ネコノメソウ類が多く見られた。開花していた草本では、ヒトリシズカ、タチカメバソウ、ミヤマキケマン、オトメエンゴサク、ニリンソウ、キクザキイチリンソウ、サンカヨウ、ミヤマエンレイソウ、スミレサイシン、オオバキスミレ、オオタチツボスミレが見られた。木本では、アカイタヤ、オオカメノキ、オオヤマザクラ、ムラサキヤシオ、コヨウラクツツジなどが開花していた。

また、三ツ目内集落の北側にある貴船神社へ上る参道脇で、ハクサンハタザオが群生しているのを確認した。さらに、大鰐町の背後にある自然公園内でクロミノコジマエンレイソウの群落を確認している。



図2 ミチノクネコノメソウ

②石ノ塔

大鰐町を北に流れる平川には、三ツ目内川より少し上流で虹貝川が合流している。その虹貝川の途中で早瀬野ダムがある、川はダム湖の奥の秋田県境まで続く。石ノ塔（標高約 500m）は、ダム湖奥の虹貝川から、小さな沢を登った稜線にある。調査は、その虹貝川の登山口から登り、石ノ塔に至る約 1.2km の登山道を踏査する形で行った。

「石ノ塔」とは、高さ 24m 周囲が 74m もある一塊の巨岩である。ちょうど秋田県との県境となる稜線上に立っていて、大鰐町の名所の一つになっている。岩質は新第三期中新世に形成された凝灰岩である。



図3 ラショウモンカズラ

石ノ塔に至るまでの虹貝川の流域では、スギが広く植林されていて、稜線などの所々にブナやミズナラが残されている。

調査中に目についた花としては、ラショウモンカズラ、ツルシキミ、オオバキスミレ（5月22日）、シャク、オオハナウド、トチノキ、ホオノキ、タニウツギ、ツリバナ（5月30日）などであった。

③湯ノ沢

湯ノ沢は、秋田県境近くで平川に注いでいる小さな沢で、かつては温泉郷として栄えていたところである。

JR 奥羽本線津軽湯の沢駅からは、国道 7 号線を約 1km 南下したところから入る。泉質が異なる温泉旅館が 3 軒あり、根強い人気で賑わっていたが、平成 24(2012) 年に、最後の温泉が廃業して 400 年の歴史の幕を閉じた。

今でも温泉が湧き出している湯ノ沢ではあるが、沢自体は小規模で、県境にある甚吉森(800.3m)を源とし、奥行きは 3.5km ほどと短い。入口から 1.5km ほど沢に入った道路脇には硫黄泉が染み出た露頭があり、強酸性を好むタイ類のチャツボミゴケが地面を広く覆っている。

調査は 6 月 5 日、沢沿いの林道を奥まで進み、秋田県方向に折れた行止り地点(標高 335m)と、旧温泉宿付近(標高 235m)で行った。

林道の終点は広場のようなものであり、突き当たりの斜面には封鎖された坑道跡がある。広場と斜面の境には側溝が作られている。西側の斜面は低いスギ林にホオノキが混じっており、ヤマブドウ、フジ、サルナシなど蔓植物が絡まっている。ほかにアカイタヤ、アオダモ、トチノキ、カツラ、ウワミズザクラなどが目についた。草本では、広場の隅に数珠状になった角果をつけたハクサンハタザオが生育していた。

旧温泉宿の道路脇には火山性の湿地を好むヤマタヌキランの群落が所々に群落を形成していた。ヤマタヌキランの頂小穂は、雄性以外に雌雄性のものが混じっていて、この群落での両者の割合は約半数ずつであった。



図 4 頂小穂に雌雄性が混じるヤマタヌキラン

④久吉林道

碓ヶ関の街から約 3km 南下したところに二ノ渡の集落がある。平川を遡ってここまで来ると、川は分岐して本流は東に折れ、名前が津刈川と変わる。その源流は分岐点から 9km ほど東の県境にある柴森(883m)付近である。

津刈川には津刈ダムおよび久吉ダムの 2 つのダムがあり、上流の久吉ダムが大型で新しく、1995 年の竣工である。久吉ダムの上流では温泉が湧き出しており、近年温泉を中心に「久吉たけのこ温泉」として周辺が整備されたが、現在は休業中である。

6 月 26 日、久吉温泉の上流で、鍋子沢に延びる林道(久吉林道)を進み、途中 2 箇所調査を行った。

1 箇所目は、標高 520m 付近の小さな涸れ沢がある地点で、目に付いた植物を記録し、数種類の植物を採集し

た。この辺りの谷斜面には、ブナが少し混じってはいるが、タニガワハンノキ、ウダイカンパなどが優占している。その他アカシデ、ホオノキ、アカイタヤ、ハリギリ、ハウチワカエデ、カツラなども混じっている。若い実をつけたコミネカエデも見られた。

低木ではオオバクロモジ、ナナカマド、チシマザサなど基本的にはブナ・チシマザサ群団の構成種や、タニウツギ、キツネヤナギ、キブシ、オオイタドリ、クロバナノヒキオコシなど、攪乱を受けた場所に多い種類も見られた。また、涸れ沢付近ではオオバミゾホオズキ、タチカメバソウ、ツガルコウモリなどを採集した。



図 5 オオバミゾホオズキ

観察した 2 箇所目は、標高 820m 付近の平坦面で、葛川および久吉方面の標識が出ており、分水嶺となっている。ここでは、ブナ林の植生調査を行ったので、その項に記述する。

(2) 特記すべき植物

①ハクサンハタザオ *Arabidopsis halleri* subsp. *gemmifera* var. *senanensis* (Matsum.) Yonek. アブラナ科

弘前市の石戸谷芳子氏の案内で、三ツ目内川の入口にある三ツ目内集落の北側に位置する貴船神社に立ち寄ってハクサンハタザオを採集した。ここの個体群は、2015 年に、東大院総合文化研究科の久保田涉誠助教授が行った「ゲノムワイド SNP データに基づくハクサンハタザオの系統地理解析」で用いられており、ハクサンハタザオであることは確認済みだということである(弘前大学の山岸洋貴博士からの私信)。

貴船神社では参道脇の斜面に、数メートルに渡って群生している。また、湯ノ沢の林道最奥の広場脇にも生育しているが、いずれも人為的な影響が強い場所である。県内では希に見られる植物であり、青森県レッドデータブック(2020)では、C ランクとなっている。

②クロミノコジマエンレイソウ *Trillium smallii* var. *atropurpureocarpum* J. Samej. シュロソウ科

大鰐町の自然公園にある本種は、近年その存在が知られるようになった。今回の調査で、限られた範囲内でエンレイソウも交えながら生育しているのを確認した。秋田県男鹿半島が分布の南限であり(山岸博士からの私

信), 県内でも非常に希であることから, 青森県レッドデータブック (2020) ではAランクに指定されている。

2 植生調査

植生については, 石ノ塔, 湯ノ沢温泉, 久吉林道の3地点において, サワグルミ, スギ, ブナなどの群落, 計5箇所を調査し, データを採取した。調査日は, 石ノ塔で2019年5月22日および5月30日, 湯ノ沢で6月5日, 久吉林道で6月26日である。

データ採取の対象とした森林は, その場所を特徴的に示すと思われるものとした。採取した資料は, 1調査区域につき1つか3つと少ないので, 調査地域全体を示す資料ではない。しかし, 少しでもこの地域の群落組成の参考になればとの考えで載せることにした。

調査では, 各森林の高木層の樹高を1辺とした方形枠を設置し, データを採取した。データは森林を高木層, 亜高木層, 低木層, 草本層の各階層に分け, 階層ごとの高さや植生率(%)を記録し, それぞれの階層に出現した植物の種名と, その種の被度(5:4/4 ~ 3/4, 4:3/4 ~ 2/4, 3:2/4 ~ 1/4, 2:1/4 ~ 1/10, 1:1/10 ~ 1/100, +:1/100以下の6段階)と群度(5:一面に連続, 4:斑紋状に穴があく, 3:斑紋状に群がる, 2:小群状, 1:単独で生育の5段階)を記録した(中西他, 1990)。今回は森林群落のみを対象とした。

(1) 石ノ塔のサワグルミ群落

調査地付近の山肌は基本的にスギが植林されているが, 虹貝川から石ノ塔に至る沢沿いや谷間のゆるい傾斜地にはサワグルミ林が成立している。この群落では全出現種45種の内, シダ類の種数は12種になり, 土壌が湿っていることを示している。草本層のリョウメンシダ, ミゾシダ, キョウタキシダ, サカゲイノデ, ジュウモンジシダの被度が高かった。

表1 石ノ塔のサワグルミ群落の組成表

調査日 190522, 標高 335m, 斜面傾斜度 西向 7° 面積 25m × 25m, 出現種数 45 種
高木層 (高さ 25m, 植生率 80%) 2 種 サワグルミ (4・4), スギ (2・3)
亜高木層 (高さ 15m, 植生率 10%) 2 種 サワグルミ (1・2), スギ (1・2)
低木層 (高さ 1.5m, 植生率 50%) 13 種 エゾアジサイ (3・3), アオダモ (+), ツルアジサイ (+), キブシ (+), タラノキ (+), アカイタヤ (+), ニワトコ (+), トチノキ (+), スギ (+), ケナシヤブデマリ (+), ハイイヌガヤ (+), サワグルミ (+), ミヤマイボタ (+)
草本層 (高さ 0.8m, 植生率 100%) 33 種 リョウメンシダ (3・3), アキタブキ (2・3), ミヤマカンスゲ (2・3), オオハナウド (1・2), ウワバミソウ (1・2), ラショウモンカズラ (1・2), ミゾシダ (1・2), キクザキイチリンソウ (1・2), キョウタキシダ (1・2), キバナアキギリ (1・1), サカゲイノデ (1・1), ジュウモンジシダ (1・1), ヤマドリゼンマイ (+),

ウマノミツバ (+), オシダ (+), ミヤマベニシダ (+), エンレイソウ (+), スミレサイシン (+), ツクバネソウ (+), オニシモツケ (+), ヤマブキショウマ (+), ゼンマイ (+), ヒメアオキ (+), アザミ sp. (+), チシマネコノメソウ (+), トウゲシバ (+), ウリノキ (+), コウライテンナンショウ (+), ヤマイヌワラビ (+), クジャクシダ (+), ツタウルシ (+), トチバニンジン (+), ミヤマイボタ (+)



図6 石ノ塔のサワグルミ群落

(2) 石ノ塔のブナ群落

石ノ塔へ至る道は, 虹貝川の枝沢に続いていて, しばらくは車が通れるほどの幅があるが, 標高 400m 付近からは急斜面となり, つづら折りの遊歩道となる。その斜面は, おもにブナやミズナラの多い斜面だが, 所々に大きなスギが混じっている。植生の資料を得たのは, 標高 475m の石ノ塔山頂より少し手前の北西向きの急斜面で, 高木層にスギが混じらない林分を選んだ。ただし, 低木層・草本層にはスギが出現する。

表2 石ノ塔のブナ群落の組成表

調査日 190522, 標高 475m, 斜面傾斜度 北西向 35° 面積 20m × 20m, 出現種数 34 種
高木層 (高さ 20m, 植生率 90%) 4 種 ブナ (4・4), ホオノキ (1・2), ミズナラ (1・2), カスミザクラ (1・2)
亜高木層 (高さ 10m, 植生率 30%) 4 種 ブナ (2・3), ミズキ (1・2), ホオノキ (+), アオダモ (+)
低木層 (高さ 3m, 植生率 50%) 14 種 オオバクロモジ (2・3), オオカメノキ (1・2), リョウブ (1・2), タムシバ (+), ノリウツギ (+), キブシ (+), チシマザサ (+), ヤマモミジ, ムラサキヤシオ (+), ヒメアオキ (+), スギ (+), ツノハシバミ (+), ミヤマガマズミ (+), アカイタヤ (+)
草本層 (高さ 0.7m, 植生率 20%) 19 種 ヒメアオキ (1・2), シノブカグマ (+), ヤマソテツ (+), ミヤマイトチシダ (+), ゼンマイ (+), ツルシキミ (+), シシガシラ (+), コカンスゲ (+), スギ (+), ハクウンボク (+), オオバクロモジ (+), ハイイヌガヤ (+), ツルウメドク (+), アオダモ (+), タムシバ (+), チゴユリ (+), ヘビノネゴザ (+), オオヤマオダマキ (+)

東北地方の日本海側のブナ林はブナ・チシマザサ群団に所属するブナ林であるが, ここではチシマザサを欠いている。しかしオオバクロモジ, ヒメアオキ, ハイイヌガヤなどの日本海要素が見られ, いわゆるブナ・オオバクロモジ群落である。



図7 石ノ塔のブナ群落

(3) 石ノ塔のスギ群落

標高約 500m の石ノ塔の周辺には、スギの天然林かと思われる比較的大経木のスギが散在した林分がある。そのような林の中から、今回は秋田県との県境にあるスギ林の組成を調べた。このスギ林には高木層にミズナラが混じることや、その他の階層にブナも混じること、調査枠が前述のブナ林と近接することから、ブナ-オオバクロモジ群落の中でスギが優占する林分と考えられる。

表3 石ノ塔のスギ群落の組成表

調査日 190522, 標高 500m, 斜面傾斜度 南向 30° 面積 20m × 20m, 出現種数 31 種
高木層 (高さ 20m, 植被率 90%) 2 種 スギ (4・4), ミズナラ (2・3)
亜高木層 (高さ 15m, 植被率 30%) 5 種 アカイタヤ (2・3), ブナ (1・2), ホオノキ (+), スギ (+), イワガラミ (+)
低木層 (高さ 3m, 植被率 40%) 14 種 オオカメノキ (2・3), チシマザサ (1・2), オオバクロモジ (1・2), ヒメアオキ (1・2), ヒバ (+), ブナ (+), キブシ (+), ヤマウルシ (+), ノリウツギ (+), ハイイヌガヤ (+), スギ (+), リョウブ (+), コミネカエデ (+), ハウチワカエデ (+)
草本層 (高さ 0.7m, 植被率 80%) 21 種 チゴユリ (3・3), ヒメアオキ (2・3), コカンスゲ (1・2), シシガシラ (+), ハイイヌガヤ (+), ホオノキ (+), ツクバネソウ (+), リョウブ (+), ミゾシダ (+), ゼンマイ (+), オオバクロモジ (+), ウリハダカエデ (+), ムラサキヤシオ (+), コシアブラ (+), ワラビ (+), ヤマウルシ (+), イワガラミ (+), タムシバ (+), ホツツジ (+), シノブカグマ (+), チシマザサ (+)



図8 石ノ塔のスギ群落

(4) 湯ノ沢のスギ-ミズナラ群落

温泉で賑わった湯ノ沢の両岸の山腹は人手が多く加わり、スギの植林になっているところが多い。スギ多くは一斉に植林され、利用の際は皆伐されることが普通だが、スギがいくらか残されたところに、ミズナラなど多様な樹木が生育して雑木林を形成する場合もあるのだろう。この調査枠では、高木層に成木のスギが出現するが、孤立した状態である。亜高木層以下の木々はいずれも直径が小さく、樹木の侵入からあまり年数が経っていないと思われる。

亜高木層ではミズナラが優占し、ブナは見られないが、林内にはチシマザサが伴い、オオバクロモジやヒメアオキ等の日本海要素が見られ、組成的にはブナ-オオバクロモジ群落と共通することから、この林分は植林や伐採が繰り返された後の、遷移途中の相としてミズナラが優占している状態とみることができる。

表4 湯ノ沢のスギ-ミズナラ群落の組成表

査日 190605, 標高 330m, 斜面傾斜度 北西 0~10° 面積 23m × 23m, 出現種数 39 種
高木層 (高さ 23m, 植被率 10%) 1 種 スギ (2・3)
亜高木層 (高さ 12m, 植被率 95%) 7 種 ミズナラ (3・4), コシアブラ (2・3), ハウチワカエデ (2・3), ホオノキ (+), スギ (+), ウダイカンバ (+), ウリハダカエデ (+)
低木層 (高さ 3m, 植被率 40%) 19 種 オオバクロモジ (2・3), チシマザサ (2・3), ミズナラ (1・2), ハウチワカエデ (1・2), アオダモ (+), ウウミズザクラ (+), ツタウルシ (+), ハクウンボク (+), ヒメアオキ (+), ヤマウルシ (+), ムラサキシキブ (+), ツノハシバミ (+), ミヤマガマズミ (+), オオカメノキ (+), ハイイヌガヤ (+), リョウブ (+), アカイタヤ (+), ホオノキ (+), コミネカエデ (+)
草本層 (高さ 0.5m, 植被率 30%) 22 種 チゴユリ (1・2), ツルシキミ (1・2), ワラビ (+), ミヤマイトチシダ (+), ツクバネソウ (+), ミヤマカンスゲ (+), イワガラミ (+), シシガシラ (+), ヒメアオキ (+), ツタウルシ (+), リョウブ (+), トチノキ (+), ハウチワカエデ (+), ミズナラ (+), ツルアリドオシ (+), スミレサイシン (+), ツルリンドウ (+), ホソバナライシダ (+), ハイイヌガヤ (+), シオデ (+), ミヤマナルコユリ (+), ツルウメモドキ (+)



図9 湯ノ沢のスギ-ミズナラ群落

(5) 久吉林道のブナ群落

久吉林道は、久吉ダムの上流にある久吉温泉（たけのこの里）から二手に分かれ、北側に伸びる鍋小沢に沿って続き、葛川まで至る。途中、標高 800m を超えた辺りが峠となっていて、平坦なブナ林が広がっている。植生資料は、標高 820m の峠付近で採取した。

このブナ林（ブナ群落）は、ブナに一面覆われ、低木層にはチシマザサが優占している、いわゆるブナ・チシマザサ群落である。草本層ではシラネウラボシが大きな面積を覆っている。また、階層によってサウグルミ、トチノキなど、湿生を好む樹木が見られることから、比較的湿ったブナ林（ブナ群落）だと考えられる。

表 5 久吉林道のブナ群落の組成表

調査日 190626, 標高 820m, 斜面傾斜度 0° 面積 20m × 20m, 出現種数 42 種
高木層（高さ 20m, 植被率 95%）3 種 ブナ (5・4), サウグルミ (1・2), シナノキ (1・2)
亜高木層（高さ 8m, 植被率 10%）3 種 ブナ (1・2), ハウチワカエデ (+), コシアブラ (+)
低木層（高さ 3m, 植被率 50%）11 種 チシマザサ (3・4), オオカメノキ (1・2), オオバクロモジ (1・2), ウミズザクラ (+), ハウチワカエデ (+), ツノハシバミ (+), ヒメアオキ (+), ブナ (+), コシアブラ (+), サウグルミ (+), ホオノキ (+)
草本層（高さ 0.8m, 植被率 90%）36 種 シラネウラボシ (4・4), ツルアジサイ (3・3), オオカメノキ (1・2), オオバクロモジ (1・2), オシダ (+), アケボノシュスラン (+), ヒメアオキ (+), コシアブラ (+), オオサワハコベ (+), タニギキョウ (+), ホウチャクソウ (+), ツタウルシ (+), トチバニンジン (+), エンレイソウ (+), ツクバネソウ (+), キクザキイチリンソウ (+), ヒメゴヨウイチゴ (+), ブナ (+), リョウメンシダ (+), ヤマイヌワラビ (+), サカゲイノデ (+), ニワトコ (+), ツルニンジン (+), ナナカマド (+), エゾアジサイ (+), コマユミ (+), ミヤママタタビ (+), ミヤマワラビ (+), ユキザサ (+), アカイタヤ (+), ハリギリ (+), ヘビノネゴザ (+), アオダモ (+), シナノキ (+), トチノキ (+), シオデ (+)

3 維束植物目録

この目録には、今年度の調査で採集または目視確認したシダ植物及び種子植物をまとめた。掲載数はシダ植物 13 科 37 種（変種等を含む）、種子植物 79 科 263 種（変種等を含む）の合計 92 科 300 種（変種等を含む）であり、未整理（未同定）のものは除外してある。

分類体系と科の配列及び学名、和名については、基本的に Web 版 Ylist に準拠した。ただし、被子植物の配列は APG IV（APG, 2016）を用いるなど、最新と思われる体系に変えたものがある。また、紙面の都合で命名者名は省いた。

リストは、「学名、和名、調査地点の記号と標本の有無」を示した。

(例) *Hymenophyllum wrightii* コケシノブ M* I

M, I, Y, H の記号は、それぞれ、M: 三ッ目内川, I: 石ノ塔, Y: 湯ノ沢, H: 久吉林道をあらわす。記号の右

肩に * を付しているのは、その場所の標本があることを示す。(例) では、三ッ目内川で採集した標本があり、石ノ塔では目視確認をしたことを表している。

PTERIDOPHYTA シダ植物

Lycopodiaceae ヒカゲノカズラ科

Huperzia serrata トウゲシバ I

Lycopodium clavatum var. *clavatum* ヒカゲノカズラ M

Equisetaceae トクサ科

Equisetum arvense f. *arvens* スギナ MIY

Ophioglossaceae ハナヤスリ科

Botrychium multifidum var. *robustum* エゾフユノハナワラビ I

Osmundaceae ゼンマイ科

Osmundastrum cinnamomeum var. *fokiense* ヤマドリゼンマイ IY

Osmunda japonica ゼンマイ MIY

Hymenophyllaceae コケシノブ科

Hymenophyllum barbatum コウヤコケシノブ M*

Hymenophyllum wrightii コケシノブ M*I

Plagiogyriaceae キジノオシダ科

Plagiogyria matsumurana ヤマソテツ MIY

Dennstaedtiaceae コバノイシカゲマ科

Dennstaedtia hirsute イヌシダ M

Pteridium aquilinum subsp. *japonica* ワラビ I*YH

Pteridaceae イノモトソウ科

Adiantum pedatum クジャクシダ MIYH

Aspleniaceae チャセンシダ科

Asplenium incisum トラノオシダ M

Asplenium scolopendrium コタニワタリ MI

Thelypteridaceae ヒメシダ科

Thelypteris japonica f. *viridescens* アオハリガネワラビ I*Y

Thelypteris phegopteris ミヤマワラビ I*H

Thelypteris pozoi subsp. *mollissima* ミゾシダ IYH

Onocleaceae コウヤワラビ科

Matteuccia struthiopteris クサソテツ MIYH

Pentarrhizidium orientale イヌガンソク MIYH

Blechnaceae シシガシラ科

Blechnum amabile オサシダ M

Blechnum nipponicum シシガシラ MIYH

Athyriaceae メシダ科

Athyrium clovicola カラクサイヌワラビ I

Athyrium vidalii ヤマイヌワラビ IYH

Athyrium yokoscense ヘビノネゴザ MIYH*

Deparia conilii ホソバシケシダ I

Deparia pycnosora ミヤマシケシダ MIY

Diplazium squamigerum キョウタキシダ I

Dryopteridaceae オシダ科

Polystichum retrosopaleaceum サカゲイノデ MIYH

Polystichum tripterum ジュウモンシダ MIYH

Arachniodes mutica シノブカグマ MI
Arachniodes standishii リョウメンシダ MIYH
Dryopteris crassirhizoma オンダ MIH
Dryopteris expansa シラネワラビ H*
Dryopteris monticola ミヤマベニシダ MIYH
Dryopteris sabaiei ミヤマイトチシダ MIY
Dryopteris saxifraga イワイタチシダ M
Arachniodes borealis ホソバナライシダ MIYH

GIMNOSPERMAE 裸子植物

Pinaceae マツ科

Larix kaempferi カラマツ H
Pinus parviflora var. *pentaphylla* キタゴヨウ M

Cupressaceae ヒノキ科

Cryptomeria japonica スギ MIYH
Thujaops dolabrata var. *hondae* ヒノキアスナロ MI

Taxaceae イチイ科

Cephalotaxus harringtonia var. *nana* ハイイヌガヤ MIY

ANGIOSPERM 被子植物

【Basal angiosperms 基部被子植物】

Schisandraceae マツブサ科

Schisandra repanda マツブサ Y

【※ Mesangiospermae 主要被子植物】

Chloranthaceae センリョウ科

Chloranthus quadrifolius ヒトリシズカ MI
Chloranthus serratus フタリシズカ Y

< Magnoliids モクレン類 >

Aristolochiaceae ウマノスズクサ科

Asarum tohokuense トウゴクサイシン I

Magnoliaceae モクレン科

Magnolia obovata ホオノキ MIYH

Lauraceae クスノキ科

Lindera umbellata オオバクロモジ MIYH

< Monocots 単子葉類 >

Araceae サトイモ科

Arisaema peninsulae コウライテンナンショウ MI

Dioscoreaceae ヤマノイモ科

Dioscorea tokoro オニドコロ Y

Melanthiaceae シュロソウ科

Paris tetraphylla ツクバネソウ IYH
Trillium apetalon エンレイソウ MIYH
Trillium smallii var. *atropurpureocarpum* クロミノコジマエンレイソウ 大鰐町*
Trillium tschonoskii ミヤマエンレイソウ MY

Colchicaceae イヌサフラン科

Disporum sessile ホウチャクソウ YH
Disporum smilacinum チゴユリ IY

Smilacaceae サルトリイバラ科

Smilax riparia シオデ YH

Liliaceae ユリ科

Cardiocrinum cordatum var. *glehnii* オオウバユリ MH
Erythronium japonicum カタクリ M

Orchidaceae ラン科

Goodyera foliosa var. *laevis* アケボノシュスラン IH
Neolindleya camtschatica ノビネチドリ M

Asparagaceae キジカクシ科

Maianthemum japonicum ユキザサ YH
Polygonatum lasianthum ミヤマナルコユリ IYH

Juncaceae イグサ科

Juncus decipiens イグサ MIY
Juncus diastrophanthus ヒロハノコウガイゼキショウ IY
Juncus tenuis クサイ YH
Luzula plumosa subsp. *dilatata* クロボシソウ MIH

Cyperaceae カヤツリグサ科

Carex nubigena subsp. *albata* ミノボロスゲ IYH
Carex incisa カワラスゲ H
Carex shimidzensis アズマナルコ IY
Carex angustisquama ヤマタヌキラン Y*
Carex reinii コカンスゲ MI
Carex foliosissima var. *foliosissima* オクノカンスゲ IY
Carex leucocholora var. *ficulmis* イトアオスゲ IY
Carex multifolia var. *multifolia* ミヤマカンスゲ MIY
Carex stenostachys var. *cuneata* ミチノクホンモンジスゲ Y
Carex lanceolata ヒカゲスゲ H
Carex blepharicarpa ショウジョウスゲ M*I
Carex curvicolis ナルコスゲ MI
Carex oxyandra ヒメスゲ Y*
Carex japonica ヒゴクサ Y*
Carex mollicula ヒメシラスゲ IH
Carex olivacea subsp. *coniferflora* ミヤマシラスゲ Y

Poaceae イネ科

Sasa kurilensis チシマザサ MIYH
Sasa palmata var. *palmata* チマキザサ Y
Sasa senanensis var. *senanensis* クマイザサ I
Sasaella sadoensis サドザサ Y
Anthoxanthum odoratum subsp. *odoratum* ハルガヤ Y
Calamagrostis hakonensis ヒメノガリヤス IYH
Dactylis glomerata カモガヤ Y
Poa annua スズメノカタビラ IH
Poa pratensis ナガハグサ Y
Zoysia japonica シバ I
Leptatherum boreale var. *boreale* キタササガヤ H
Miscanthus sinensis ススキ IYH

< Eudicots 真正双子葉類 >

Papaveraceae ケシ科

Corydalis fukuharae オトメエンゴサク M

Corydalis pallida var. *tenuis* ミヤマキケマン MI

Lardizabalaceae アケビ科

Akebia trifoliata ミツバアケビ I

Berberidaceae メギ科

Epimedium koreanum キバナイカリソウ I

Ranunculaceae キンポウゲ科

Aconitum japonicum subsp. *subcuneatum* オクトリカブト M

Anemone flaccida ニリンソウ M

Anemone pseudoaltaica キクザキイチゲ MIYH

Aquilegia buergeriana var. *oxysepala* オオヤマオダマキ I

Ranunculus silerifolius var. *silerifolius* ヤマキツネノボタン H

Hamamelidaceae マンサク科

Hamamelis japonica var. *discolor* f. *obtusata* マルバマンサク MIH

Cercidiphyllaceae カツラ科

Cercidiphyllum japonicum カツラ MIYH

Saxifragaceae ユキノシタ科

Astilbe odontophylla トリアシショウマ MIYH

Chrysosplenium flagelliferum ツルネコノメソウ M*H*

Chrysosplenium grayanum ネコノメソウ M*

Chrysosplenium kamtschaticum チシマネコノメソウ M*I

Chrysosplenium kamtschaticum var. *aomorense* ミチノクネコノメソウ M

Micranthes fusca var. *fusca* エゾクログモソウ M

Rodgersia podophylla ヤグルマソウ MIYH

Saxifraga fortunei ダイモンジソウ MH

Vitaceae ブドウ科

Cayratia japonica ヤブカラシ H

Vitis coignetiae ヤマブドウ MIYH

Fabaceae マメ科

Amorpha fruticosa イタチハギ Y

Amphicarpea bracteata subsp. *edgeworthii* var. *japonica* ヤブマメ H

Cytisus scoparius エニシダ Y

Lespedeza cuneata メドハギ Y

Maackia amurensis イヌエンジュ MY

Robinia pseudoacacia ハリエンジュ Y

Trifolium repens シロツメクサ MIYH

Wisteria floribunda フジ Y

Rhamnaceae クロウメモドキ科

Brechemia racemosa クマヤナギ IY

Ulmaceae ニレ科

Ulmus laciniata オヒョウ I

Moraceae クワ科

Morus australis ヤマグワ IY

Urticaceae イラクサ科

Boehmeria silvestrii アカソ IYH

Elatostema involucratum ウワバミソウ MIYH

Laportea bulbifera ムカゴイラクサ YH

Laportea cuspidata ミヤマイラクサ IYH

Rosaceae バラ科

Agrimonia pilosa var. *japonica* キンミズヒキ IH

Aruncus dioicus var. *kamtschaticus* ヤマブキショウマ MIH

Cerasus sargentii var. *sargentii* オオヤマザクラ M

Filipendula camtschatica オニシモツケ MIH

Padus grayana ウワミズザクラ MIYH

Padua ssiori シウリザクラ I

Potantilla centigrana ヒメヘビイチゴ IYH

Pourthiaea villosa カマツカ I

Rubus crataegifolius クマイチゴ MIY

Rubus palmatus var. *coptophyllus* モミジイチゴ MIY

Rubus parvifolius ナワシロイチゴ Y

Rubus pseudojaponicus ヒメゴヨウイチゴ H*

Sorbus commixta ナナカマド IH

Fagaceae ブナ科

Castanea crenata クリ I

Fagus crenata ブナ MIH

Quercus crispula var. *crispula* ミズナラ MIYH

Juglandaceae クルミ科

Juglans mandshurica var. *sachalinensis* オニグルミ IY

Pterocarya rhoifolia サワグルミ MIH

Betulaceae カバノキ科

Alnus inokumae タニガワハンノキ H

Alnus hirsuta var. *sibirica* ヤマハンノキ MI

Betula maximowiczana ウダイカンバ YH

Carpinus cordata サワシバ H

Carpinus laxiflora アカシデ IH

Corylus sieboldiana var. *mandshurica* ツノハシバミ MIYH

Coriariaceae ドクウツギ科

Coriaria japonica ドクウツギ H

Cucurbitaceae ウリ科

Schizopepon bryoniifolius ミヤマニガウリ YH

Celastraceae ニシキギ科

Celastrus orbiculatus var. *orbiculatus* ツルウメモドキ MIY

Euonymus alatus var. *alatus* f. *striatus* コマユミ MIH

Euonymus oxyphyllus var. *magnus* エゾツリバナ MIYH

Euonymus sieboldianus マユミ I*

Oxalidaceae カタバミ科

Oxalis acetosella var. *longicapsula* ヒョウノセンカタバミ M

Salicaceae ヤナギ科

Salix caprea バッコヤナギ MIYH

Salix integra イヌコリヤナギ YH

Salix udensis オノエヤナギ MIYH

Salix vulpina subsp. *vulpina* キツネヤナギ MIYH

Violaceae スミレ科

Viola brevistipulata subsp. *brevistipulata* オオバキスミレ I

Viola kusanoana オオタチツボスミレ MIH

Viola verecunda ツボスミレ IYH

Viola vaginata スミレサイシン MIY

Hypericaceae オトギリソウ科

Hypericum erectum var. *erectum* オトギリソウ Y

Onagraceae アカバナ科

Circaea erubescens タニタデ H

Oenothera biennis メマツヨイグサ MY

Stachyuraceae キブシ科

Stachyurus praecox キブシ MIYH

Anacardiaceae ウルシ科

Rhus javanica var. *chinensis* スルデ Y

Toxicodendron orientale ツタウルシ IYH

Toxicodendron trichocarpum ヤマウルシ MIYH

Sapindaceae ムクロジ科

Acer amoenum var. *matsumurae* ヤマモミジ MIY

Acer japonicum ハウチワカエデ MIYH

Acer micranthum コミネカエデ IYH

Acer pictum subsp. *mayrii* アカイタヤ MYH

Acer rufinerve ウリハダカエデ IY

Acer tschonoskii ミネカエデ I

Aesculus turbinata トチノキ M

Aesculus turbinata f. *pubescens* ウラゲトチノキ MYH

Ruraceae ミカン科

Skimmia japonica var. *intermedia* f. *repens* ツルシキミ MI

Malvaceae アオイ科

Tilia japonica シナノキ H

Brassicaceae アブラナ科

Arabidopsis halleri subsp. *gennifera* var. *senaensis* ハクサン
ハタザオ M*Y*

Barbarea vulgaris ハルザキヤマガラシ I

Cardamine leucantha コンロンソウ MIYH

Cardamine scutata タネツケバナ IH

Cardamine yezoensis エゾワサビ M

Polygonaceae タデ科

Fallopia sachalinensis オオイタドリ MIYH

Persicaria filiformis ミズヒキ IYH

Persicaria sagittata var. *sibirica* ウナギツカミ Y

Persicaria thunbergii var. *thunbergii* ミゾソバ MIHY

Rumex crispus ナガバギンギン Y

Rumex obtusifolius エゾノギンギン MIH

Caryophyllaceae ナデシコ科

Cerastium fontanum subsp. *vulgare* var. *angustifolium* ミミ
ナグサ YH

Stellaria diversiflora f. *robusta* オオサワハコベ H

Stellaria media コハコベ I

Stellaria ulginosa var. *undulata* ノミノフスマ MIH

Cornaceae ミズキ科

Alangium platanifolium var. *trilobatum* f. *macrophyllum* ウリ
ノキ MIY

Cornus controversa ミズキ MIYH

Hydrangeaceae アジサイ科

Hydrangea paniculata ノリウツギ MIY

Hydrangea petiolaris ツルアジサイ MIYH

Hydrangea serrata var. *yesoensis* エゾアジサイ MIYH

Schizophragma hydrangeoides イワガラミ M

Balsaminaceae ツリフネソウ科

Impatiens noli-tangere キツリフネ YH

Impatiens textorii ツリフネソウ H

Primulaceae サクラソウ科

Ardisia japonica ヤブコウジ I

Lysmachia clethroides オカトラノオ IY

Lysmachia japonica コナスビ IY

Diapensiaceae イワウメ科

Shortia uniflora var. *uniflora* オオイワウチワ I

Styracaceae エゴノキ科

Styrax obassia ハクウンボク MIYH

Actinidiaceae マタタビ科

Actinidia arguta var. *arguta* サルナシ MIYH

Actinidia polygama マタタビ IY

Clethraceae リョウブ科

Clethra barbinervis リョウブ MIYH

Ericaceae ツツジ科

Elliotia paniculata ホツツジ MIH

Epigaea asiatica イワナシ M

Eubotryoides grayana var. *grayana* ハナヒリノキ I

Monotropastrum humile ギンリョウソウ Y

Rhododendron albrechtii ムラサキヤシオツツジ MI

Rhododendron kaempferi var. *kaempferi* ヤマツツジ IH

Rhododendron multiflorum ウラジロヨウラク IH

Rhododendron pentandrum コヨウラクツツジ M

Vaccinium hirtum var. *pubescens* ウスノキ I

Vaccinium japonicum アクシバ MI

Aucubaceae アオキ科

Aucuba japonica var. *borealis* ヒメアオキ MIYH

Rubiaceae アカネ科

Galium trifloriforme オククルマムグラ IY

Mitchella undulata ツルアリドオシ IY

Gentianaceae リンドウ科

Gentiana zollingeri フデリンドウ I

Swertia bimaculata アケボノソウ I

Tripterospermum japonicum ツルリンドウ IY

Apocynaceae キョウチクトウ科

Cynanchum caudatum var. *caudatum* イケマ IYH

Convolvulaceae ヒルガオ科

Calystegia pubescens f. *major* ヒルガオ Y

Boraginaceae ムラサキ科

Trigonotis guilielmii タチカメバソウ MH*

Oleaceae モクセイ科

Fraxinus lanuginosa f. *serrata* アオダモ MIY

Fraxinus sieboldiana マルバアオダモ I

Ligustrum tschonoskii var. *tschonoskii* ミヤマイボタ I

Plantaginaceae オオバコ科

Plantago asiatica オオバコ MIYH

Lamiaceae シソ科

Callicarpa japonica var. *japonica* ムラサキシキブ IY
Clerodendrum trichotomum クサギ MI
Glechoma hederacea subsp. *grandis* カキドオシ Y
Isodon trichocarpa クロバナヒキオコシ IH
Meehnia urticifolia ラシヨウモンカズラ I*
Salvia nipponica var. *nipponica* キバナアキギリ IY

Mazaceae サギゴケ科

Mazus miquelii サギゴケ Y

Phrymaceae ハエドクソウ科

Mimulus sessilifolius オオバミゾホオズキ H*

Aquifoliaceae モチノキ科

Ilex crenata var. *radicans* ハイイヌツゲ MIY
Ilex leucoclada ヒメモチ I
Ilex macropoda アオハダ I

Campanulaceae キキョウ科

Adenophora triphylla var. *japonica* ツリガネニンジン MI
Codonopsis lanceolata ツルニンジン IH
Loberia sessilifolia サワギキョウ I
Peracarpa carnosa タニギキョウ MH

Asteraceae キク科

Adenocaulon himalaicum ノブキ IH
Artemisia indica var. *maximowiczii* ヨモギ MIYH
Artemisia montana オオヨモギ IYH
Aster glehnii var. *hondoensis* ゴマナ IY
Aster microcephalus var. *ovatus* ノコンギク IY
Cirsium muraii シラカミアザミ I
Cirsium nipponicum var. *nipponicum* ナンブアザミ H
Erigeron annuus ヒメジョオン IH
Erigeron philadelphicus ハルジオン H
Eupatorium glehnii ヨツバヒヨドリ IYH
Eupatorium makinoi ヒヨドリバナ IY
Helianthus tuberosus キクイモ Y
Hypochaeris radicata ブタナ Y
Ixeridium dentatum subsp. *nipponicum* var. *albiflorum* f. *amplifolium* ハナニガナ I
Parasenecio delphiniifolius モミジガサ I
Parasenecio farfarifolius var. *bulbiferus* タマブキ Y
Parasenecio hastatus subsp. *tanakae* イヌドウナ MIYH
Parasenecio hosoianus ツガルコウモリ H*
Petasites japonicus subsp. *giganteus* アキタブキ MIYH
Picris hieracioides subsp. *japonica* コウゾリナ MY
Rudbeckia laciniata オオハンゴンソウ Y
Senecio cannabifolius ハンゴンソウ MIH
Solidago gigantea subsp. *serotina* オオアワダチソウ Y
Solidago virgaurea subsp. *gigantea* オオアキノキリンソウ MIH
Taraxacum officinale セイヨウタンポポ IY

Araliaceae ウコギ科

Aralia cordata var. *cordata* ウド MIYH

Aralia elata タラノキ MIYH

Chengiopanax sciadophylloides コシアブラ IYH

Kalopanax septemlobus ハリギリ MIH

Panax japonicus トチバニンジン IH

Apiaceae セリ科

Angelica edulis アマニユウ MYH

Angelica ursina エゾニユウ MIH

Anthriscus sylvestris subsp. *sylvestris* シャク M

Cryptotaenia canadensis subsp. *japonica* ミツバ IH

Heracleum lanatum var. *lanatum* オオハナウド MIH

Sanicula chinensis ウマノミツバ IY

Adoxaceae レンブクソウ科

Sambucus racemosa subsp. *sieboldiana* var. *sieboldiana* ニワトコ MIYH

Viburnum dilatatum ガマズミ H

Viburnum furcatum オオカメノキ MIYH

Viburnum plicatum var. *plicatum* f. *glabrum* ケナシヤブデマリ I*Y

Viburnum wrightii var. *wrightii* ミヤマガマズミ MIY

Caprifoliaceae スイカズラ科

Patrinia villosa オトコエシ IY

Weigela hortensis タニウツギ MIYH

謝 辞

昨年度に引き続き津軽植物の会の辻村収氏、澤田満氏、乗田利一氏、横山昭子氏、葛西政光氏、松本明男氏、石戸谷芳子氏には、植物相のリスト作成や植生調査等で多大なご協力をいただいた。また、弘前大学の山岸洋貴博士には、特記すべき植物についてご教示いただいた。これらの皆さまに対し衷心より感謝申し上げる。

引用文献

青森県 (2020) 青森県の希少な野生生物—青森県レッドデータブック (2020 年版)—. 397pp. 青森県
 青森県立郷土館 (2018) 青森県立郷土館平成 30 年度特別展コロコロ STONE—あおり石ものがたり—展示解説書. 62pp.
 APG (2016) An update of the Angiosperm Phylogeny Group classification for the orders and families of flowering plants: APG IV. Botanical Journal of the Linnean Society 181(1): 1-20.
 中西哲・大場達之・武田義明・服部保 (1990) 日本の植生図鑑 < I > 森林. 208pp. 保育社
 齋藤信夫・太田正文 (2019) 青森県中津軽地域の植物調査 (1). 青森県立郷土館研究紀要 43:37-54.
 米倉浩司・梶田忠 (2003-) 「BG Plants 和名—学名インデックス」 (YList), <http://ylist.info>